

第162回中材業務及び感染対策研究会、2025年11月15日（土）に開催しました。

今回は3講演、特別講演、教育講演の5本立てで研究会行されました。

講演1「施設紹介」の講師は 洛和会丸太町病院 沖田雄大先生。

具体的に丸太町病院の施設紹介とその問題点、取り組まれた内容を講演していただきました。滅菌部門は業務の限界を超えて病院側に改善案を提出する協力的でなかった。しかし機能評価を受審するのをきっかけに病院側も改善しなければならない。沖田先生方はピンチをチャンスに変えて改善に取り組んだお話。チャンスに変えるまでに準備されていてこと、多職種で取り組まれて改善されたことがどこの施設にも言えることなのでとても参考になりました。



講演2「洗浄剤の特性と効果」クリーンケミカル株式会社 三軒隼人先生。

滅菌するためには絶対必要である洗浄。洗浄剤の種類はたくさんありますが、その成分や効果の詳細までは調べることが大変です。それをとてもわかりやすくまとめて教えていただきました。明日からの業務にすぐにでもいかせられるお話をしました。



講演3 「当院におけるサプライセンターのスタッフ教育とキャリア開発について」

大阪府済生会中津病院 当研究会役員でもある平松治会長の講演。「何もわからない状態で就職してくる」スタッフに教育プランから仕事を楽しくおこなうための工夫点をお話していただきました。「キャリアアップにつながって人材の確保にもつながる」これらは滅菌業務に関わる人だけの問題ではなく、他の職種でも同じようなことが言えます。とても参考になった方が多くおられたのではないでしょうか。



特別講演 「APDって何？」大阪公立大学医学部附属病院 阪本浩一先生。

初めて聞いたAPD。「聞こえているけど聞き取れない。理解ができない」私たちの身近でも何度も聞き直し、聞こえていないのかと思ってしまう行動に出る人。実はまだ知られていない人が多くいるそうです。職場にもこのような人がいるかもしれません。その時は「環境を調整する、周囲と協力する、ゆっくりと話しかける」で私たちもAPDを理解していくことの重要性を学びました。



教育講演 「感染対策で“ねばならないこと”と“ねばならないことでもないこと”」日本感染管理支援協会 土井英史先生は海外の情報を基に講演していただきました。

コロナ後、日常当たり前になっていることをもう一度見直す内容が盛りだくさんでした。本当に自施設での必要なことを見直すきっかけを教えていただきました。



今回も講演で多くのことを学ぶことができました。また次回もより多くのみなさまに聴講していただけるような研究会の内容にしていきたいと考えております。どうぞ次回もご参加ください。